Specialist activity started!

スペシャリスト活動開始!

一緒に働く仲間を募集中!!
市民病院では、看護師を募集しています。
詳しくは、市民病院管理課まで。

医療が年々専門化・高度化を遂げる中で、国家資格に基づいてそれぞれの専門分野を受け持つ医療スタッフ1人ひとりが糖尿病や感染症といった特定の領域のスキルを高め、チームワークを組むことでより安全で質の高い医療を提供することが求められています。

市民病院では、医師の学会への参加はもとより、病院スタッフの資格取得や研修参加を積極的に支援しています。

看 護 部

■資格取得を進めています!

今年7月、認定看護管理者1名と感染管理認定看護師1名が新たに誕生しました。市民病院には、比企広域市町村圏組合から引き継いだ感染症病床が4床ありますが30年余り前の施設であるため、MERS(中東呼吸器症候群)や新型インフルエンザなど新たな感染症の脅威に対応するには、機能が十分ではありません。

今後は、担い手となる感染管理認定看護師の確保を契機として、施設や設備の改修を行っていくことが課題です。

また、日本集団災害医学会のインストラクターにも新たに1名が認定されました。

認定看護師になるには、職場を離れて1年間の研修を受けた後、試験に合格することが必要です。そのため、本人の努力はもちろんのこと職場や家族の理解と協力が不可欠です。

■資格を活かした取組をはじめています!

糖尿病認定看護師による看護相談室の取組

糖尿病は慢性で進行性の病気です。分かりやすく言えば、徐々に発症し、そのまま放置すると次第に悪くなってしまう病気です。高血圧や脂質異常症などとともに生活習慣病とも呼ばれ、日々の生活が治療や経過に直接影響するため、患者さんが自分にあった自己管理の方法を見つけ、継続することで、病気と上手につき合っていくことが大切です。

市民病院の内科外来では、患者さんが自らの生活スタイルに合った自己管理を継続していただくことを目指し、糖尿病認定看護師がサポートに取り組んでいます。

具体的には、糖尿病に関する正しい知識を理解していただいた上で、血糖値をコントロールするための食事や運動などの生活習慣の留意点、内服薬やインスリン注射、自己血糖測定などの治療や処置に関する内容など患者さんからの相談に応じ、必要な助言や指導を行っています。

糖尿病では、血糖値がかなり高くても自覚症状が乏しい場合が少なくないため、食事制限など自己管理を続けることの負担感ばかりが募る結果、治療の中断に繋がりやすい病気でもあります。

そこで、継続できる管理を目指して『患者さんといっしょに考え、患者さん自らが決める自己管理』というスタンスで、インスリン治療で来院された患者さんを中心にお話を伺っています。

主治医にはちょっと言いづらい療養上の悩みやストレス、毎日の頑張りなど患者さんそれぞれの思いの丈を自由に語っていただける場にしていきたいと考えています。糖尿病で治療中の方、血糖値が少し高いと言われてご心配の方など、是非お気軽にお声がけください。

1F　内科外来　看護相談室　　月・火・金　午前9時～午後3時

事 務 部

病院経営を取り巻く環境が一段と厳しさを増し、診療報酬制度等が複雑化する中、事務職員についても市役所から人事異動した職員だけで対応するのは困難となっています。

区分	認定機関等	取得資格・人数	
看護部	公益社団法人 日本看護協会	認定看護師(感染管理)	1名取得
		認定看護管理者(サードレベル)	1名取得
	一般社団法人 日本集団災害医学会	インストラクター	1名取得
事務部	一般社団法人 日本病院会	病院経営管理士	1名取得

そのため、平成28年度は大学病院等での勤務経験が豊富なスタッフを新たに2名を採用したほか、1名が病院経営管理士の認定を受けました。